

大坂成蹊大学 2020年度卒業生対象 卒業時アンケート結果

IR推進室

実施要項	対象者：大坂成蹊大学卒業生449人（回答率92.0%）
設問	<p>1.卒業生の成長実感度 … 本学での学びをとおして、あなた自身の成長を実感することができましたか？</p> <p>2.本学への教育満足度 … 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？</p> <p>3.学びの人生への役立ち … これからの人生において役立つことを、本学で学べましたか？</p> <p>4.教職員のサポート満足度 … 本学での学修において、教員・職員からの指導やサポートは満足できるものでしたか？</p> <p>5.就職・進路へのサポート満足度 … 就職や卒業後の進路選択において、本学のサポート体制は満足できるものでしたか？</p> <p>6.本学への入学満足度 … 本学に入学して、良かったと思いますか？</p> <p>※全設問の選択肢 4 とてもそう思う 3 そう思う 2 あまりそう思わない 1 全くそう思わない</p>

(単位：人)

学部・学科		1.卒業生の成長実感度					2.本学への教育満足度					3.学びの人生への役立ち度					4.教職員のサポート満足度					5.就職・進路へのサポート満足度					6.本学への入学満足度				
		全体	4	3	2	1	全体	4	3	2	1	全体	4	3	2	1	全体	4	3	2	1	全体	4	3	2	1	全体	4	3	2	1
大坂成蹊大学	経営学部	157	58	96	1	2	157	42	104	9	2	157	56	92	7	2	157	73	73	10	1	157	67	79	8	3	157	60	89	6	2
		98.1%				1.9%	93.0%				7.0%	94.3%				5.7%	93.0%				7.0%	93.0%				7.0%	94.9%				5.1%
	経営学科	74	23	50	0	1	74	15	52	6	1	74	23	46	4	1	74	29	37	7	1	74	28	39	5	2	74	27	42	4	1
		98.6%				1.4%	90.5%				9.5%	93.2%				6.8%	89.2%				10.8%	90.5%				9.5%	93.2%				6.8%
	スポーツマネジメント学科	83	35	46	1	1	83	27	52	3	1	83	33	46	3	1	83	44	36	3	0	83	39	40	3	1	83	33	47	2	1
		97.6%				2.4%	95.2%				4.8%	95.2%				4.8%	96.4%				3.6%	95.2%				4.8%	96.4%				3.6%
教育学部	110	51	56	3	0	110	36	71	3	0	110	64	42	4	0	110	61	48	0	1	110	60	46	4	0	110	53	55	2	0	
	97.3%				2.7%	97.3%				2.7%	96.4%				3.6%	99.1%				0.9%	96.4%				3.6%	98.2%				1.8%	
芸術学部	146	58	74	11	3	146	34	80	28	4	146	57	72	13	4	146	55	66	19	6	146	53	63	22	8	146	57	66	18	5	
	90.4%				9.6%	78.1%				21.9%	88.4%				11.6%	82.9%				17.1%	79.5%				20.5%	84.2%				15.8%	
大阪成蹊大学 合計	413	167	226	15	5	413	112	255	40	6	413	177	206	24	6	413	189	187	29	8	413	180	188	34	11	413	170	210	26	7	
	95.2%				4.8%	88.9%				11.1%	92.7%				7.3%	91.0%				9.0%	89.1%				10.9%	92.0%				8.0%	

大坂成蹊大学 2020年度卒業生対象 卒業時アンケート

学科ごとのDPの修得意識に関する結果

※ポジティブ割合について、90%以上の項目「赤字」で表示

経営学部 経営学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合 (A+B)	平均点
		そう思う (B)	ややそう 思う (A)	あまりそう 思わない	そう 思わない		
【ディプロマポリシーに基づく設問】							
確かな 専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	30	39	3	1	94.5%	3.34
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	28	37	7	1	89.0%	3.26
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	30	35	7	1	89.0%	3.29
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	26	41	4	2	91.8%	3.25
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	31	36	4	2	91.8%	3.32
社会で 実践 する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	24	39	7	3	86.3%	3.15
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	24	38	7	4	84.9%	3.12
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	22	42	6	3	87.7%	3.14
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	28	38	5	2	90.4%	3.26
協働 できる 素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	27	41	3	2	93.2%	3.27
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	27	42	2	2	94.5%	3.29
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	33	35	3	2	93.2%	3.36

経営学部 スポーツマネジメント学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合 (A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		そう思う (B)	ややそう 思う (A)	あまりそう 思わない	そう 思わない		
確かな 専門性	1) 企業や組織における経営資源「人、モノ、カネ、情報」の役割とその活用方法を理解した。	35	44	3	1	95.2%	3.36
	2) ビジネスの仕組みと今後の発展の方向性について理解した。	34	41	7	1	90.4%	3.30
	3) 企業や組織で求められる基礎的な知識、技能（企画・運営、会計、流通、商品開発、管理）を身に付けた。	28	47	7	1	90.4%	3.23
	4) 企業や組織で求められる仕事に大学で学んだ知識、技能、考え方を活かすことができる。	32	47	3	1	95.2%	3.33
	5) 顧客のニーズを理解し、それに対応したサービスの提供と改善のための方法を理解した。	35	44	3	1	95.2%	3.36
社会で 実践 する力	6) データ、社会事象等から課題を発見することができる。	27	44	11	1	85.5%	3.17
	7) データや先行研究を使って課題解決のための対策を考え、それをわかりやすく説明することができる。	27	43	12	1	84.3%	3.16
	8) 課題解決に向けて、積極的にかかわることができる。	31	44	7	1	90.4%	3.27
	9) 課題を解決できるまで、あきらめずに取り組むことができる。	38	41	3	1	95.2%	3.40
協働 できる 素養	10) 意見の共通点や相違点を整理して、互いの考えを理解するために努力を続けることができる。	39	41	2	1	96.4%	3.42
	11) 企業や組織の中で、自分の役割を理解し、協働することができる。	38	40	4	1	94.0%	3.39
忠恕の心	12) よりよい社会を作るために、何ができるかを考えて、自ら進んで行動することができる。	44	35	3	1	95.2%	3.47

芸術学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		割合 (A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		そう思う (B)	ややそう 思う (A)	あまりそう 思わない	そう 思わない		
確かな 専門性	1) 芸術・デザインに関する歴史的・理論的な学修に基づいた専門的な知識と理解を有し、これを有効に活用することができる。	50	83	12	1	91.1%	3.25
	2) 描画力、色彩計画、素材知識、構成力、構想力、コンピュータスキルを有し、これを有効に活用することができる	62	74	8	2	93.2%	3.34
	3) 独創性のある新しい造形表現ができる。(表現力)	47	87	10	2	91.8%	3.23
	4) 実践において専門的スキルが発揮できる。(技術力)	48	81	14	3	88.4%	3.19
	5) 様々な知識やスキルをいかして作品にまとめられる。(構成力)	38	91	14	3	88.4%	3.12
	6) 作品や企画を社会に対して効果的に発信できる。(プレゼンテーション能力)	36	82	23	5	80.8%	3.02
	7) 論理的な構成の文章で、意図を正しく伝えることができる。(文章表現力)	26	87	30	3	77.4%	2.93
	8) 聞き手の理解を確かめ、対話ができる。(伝える能力)	44	78	21	3	83.6%	3.12
	9) 物事を定量的にとらえ、比較対照できる。(計算力)	25	85	30	6	75.3%	2.88
	10) 自律、自立して学習できる。(学習力)	41	84	19	2	85.6%	3.12
	11) 文化、社会に関する一般的な知識をもち、世の中の事象を理解できる。(知識と理解)	40	87	17	2	87.0%	3.13
社会で 実践 する力	12) 必要な情報を判断し、収集することができる。(情報収集力)	55	78	10	3	91.1%	3.27
	13) 収集した情報を目的に沿って整理し、その関係性や本質を明らかにできる。(分析力)	45	86	13	2	89.7%	3.19
	14) 課題を解決するための道筋を考え、実践することができる。(課題解決力)	42	88	14	2	89.0%	3.16
協働 できる 素養	15) 異文化理解の精神と、国際的な視野を身につけた。	32	66	40	8	67.1%	2.84
	16) 積極的に取り組もうとする態度を身につけた。(主体性)	39	78	28	1	80.1%	3.06
	17) ニーズに基づいて計画的に行動しようとする態度を身につけた。(行動力)	31	92	21	2	84.2%	3.04
	18) 自己の役割を理解し、他者とともに協働しようとする態度と倫理観を身につけた。(協働力)	52	79	12	3	89.7%	3.23
	19) 効果的に意思疎通ができ、状況に即した表現ができる。(コミュニケーション能力)	45	78	19	4	84.2%	3.12
忠恕の心	20) 相手の立場に立って考え、思いやりの心を持って行動することができる。	75	62	7	2	93.8%	3.44

教育学部		ポジティブ回答		ネガティブ回答		割合 (A+B)	平均点
【ディプロマポリシーに基づく設問】		そう思う (B)	ややそう 思う (A)	あまりそう 思わない	そう 思わない		
確かな 専門性	1) 教育に関する幅広い教養（社会教養・教科教養・教職教養・新しい時代の教育知識）や技能（ベーシック・リテラシーおよび専門リテラシー）が身についた。	42	64	4	0	96.4%	3.35
	2) 実践を省察しながら授業・保育を設計（デザイン）できる。（実践構想力）	33	68	9	0	91.8%	3.22
	3) 子どもの尊厳を尊重して共感的に接しながら実践できる。（実践力）	69	38	3	0	97.3%	3.60
	4) 協働的な実践の省察を通して実践を基礎づけている枠組みを発見し、新しい実践を提案できる。（実践探究力、新しい教育課題に対応するセンス）	40	67	3	0	97.3%	3.34
社会で 実践 する力	5) 市民として、問題意識、使命感、ヴィジョンを持って、社会に貢献しようとすることができる。	37	67	5	1	94.5%	3.27
	6) 主体的・継続的に学びつづける生涯学習の方法と習慣を身につけた。（学び続ける習慣）	47	60	2	1	97.3%	3.39
協働 できる 素養	7) 子ども理解を中心に、多角的な視点から他者や異質なものへの理解ができる。	64	44	2	0	98.2%	3.56
	8) 他者と協同して、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる。（新しい教育課題に対応するセンス）	56	52	2	0	98.2%	3.49
忠恕の心	9) 常に誠をつくし、ひとの立場に立って考え行動することができる。（共感する心）	61	46	3	0	97.3%	3.53